

松橋耳鼻咽喉科・内科クリニック

耳鼻咽喉科・内科



松吉 秀武 院長

めまい診断に適し、 体に負担が少ない 「ビデオヘッドインパルス検査」

「ビデオヘッドインパルス検査（VHIPT）」とは、

専用ゴーグルを装着し、頭を左右などに急速に動かした際の眼球の動きを計測・解析することで、めまい発生原因の一つである左右の三半規管の疾患の有無を調べる検査です。頭の動きに応じて目が動く「前庭動眼反射（VOR）」を測定し、平衡感覚に異常がないか調べます。

めまい診断の有用性は、

めまいの原因として、平衡感覚をつかさどる、耳の奥にある前庭に異常があることが多く、VHIPTでは三半規管の機能を部位ごとに評価できます。特に、発症間もない急性めまいにおいて、原因が耳にあるのか、脳にあるのかの鑑別に役立ち、診断精度の向上が期待されています。ただし、慢性期や軽度障害の検出には限界があるため、他の前

庭機能検査と併用して診断することが望まれます。

従来の検査との比較は、

強制的にめまいを発動させる従来の「カロリック検査」では、患者さんの体への負担が大きいという課題がありました。一方、VHIPTは眼球のわずかな動きで測定するため、従来見逃されていた軽度の機能低下も把握できます。患者さんの不快感が少なく、外来でも繰り返し実施できるのが利点です。

どのような人に勧められる検査ですか。

激しいめまいと吐き気を伴う前庭神経炎や良性発作性頭位めまい症、内耳障害など、前庭系や内耳に原因があるめまいの診断にも有効です。外来で簡単に検査でき、短時間で結果が得られるのが大きな特長です。お悩みの方は専門医にご相談ください。

DATA

〒869-0503

宇城市松橋町きらら2-2-15

☎0964(33)4133

診 9時～13時、14時～18時

（土曜は9時～13時、14時～16時）

休 日曜、祝日 ※月1回日曜診療あり（8時～12時）

HP <https://www.matsubase-cl.com/>

